

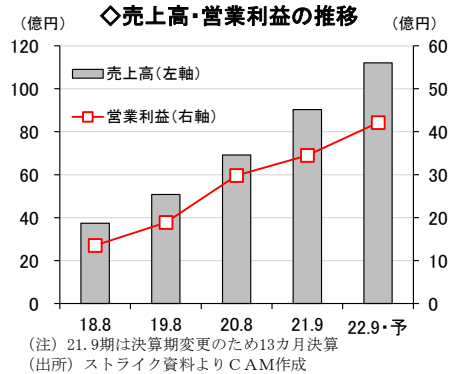
企業ニュース ストライク

(東証1部 : 6196) <https://www.strike.co.jp/>

作成者: 村上大志

中小企業向けのM&A仲介事業者

1997年設立。主力は中堅、中小企業を対象にしたM&A仲介事業。日本初のネットを利用したM&A市場を創設。譲渡や買収情報をネット上に掲載し、相手先企業を探索するサービス「M&A市場SMART」も提供する。同サービスでは、買収側は短期間で候補先を探索でき、譲渡側には選択肢が広がりより良い条件で売却できるなどのメリットがある。その他、M&Aに関する最新ニュースや法律などの情報を提供する無料ポータルサイト「M&Aonline」を運営する。主要都市に拠点を展開し全国に営業基盤を築いており、税理士や公認会計士の団体などとの提携拡大にも注力している。



事業は順調に拡大、中長期経営方針を発表

21.9期の業績は売上高が90億3,400万円、営業利益が34億5,100万円。8月から9月に決算期を変更し13か月決算のため前期比はなし。12か月補正後では売上高が前期比21%増、営業利益が同7%増と、本社移転など経費の増加をこなしつつも増益を達成した。成約組数は前期から17組増の151組と順調に増加。新規受託件数については、Web広告やセミナー開催など広告宣伝の強化や料金体系の見直しが奏功し、前期から178件増の518件と大幅に増加した。

22.9期の会社計画は売上高が112億800万円、営業利益が42億1,000万円。オフィスの新設・増床やセミナーなど営業施策の実施で経費の増加が見込まれるが、豊富な受注残を背景に成約組数の目標を前期から55組増の206組とし、13か月決算の前期比で増収増益を計画する。11月に発表した中長期経営方針では初めて売上高と営業利益の目標を開示しており、24.9期の売上高188億1,000万円、営業利益73億4,400万円を目指す。また、組織再編やチーム制導入などによる組織対応力の強化と、人材育成やIT活用などによる個人力の強化により効率化を進め、入社後3年目で一人当たりの年平均売上高1億円を目指す。事業承継M&Aに加え、スタートアップ向けM&Aに注力することで国内のM&A市場で件数トップを狙う。

[株価動向・投資判断]

意欲的な中長期経営方針を開示した点を評価したい。事業承継M&A市場におけるシェア拡大とコンサルタントの生産性向上で業績の拡大が期待される。

<6196 ストライク 業績: 単独>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高 百万円 (伸び率)	営業利益 百万円 (伸び率)	経常利益 百万円 (伸び率)	当期利益 百万円 (伸び率)	1株利益 円	1株配当 円
20.8	6,916 (36)	2,981 (58)	2,983 (58)	2,202 (64)	115.3	24.00
21.9	9,034 (-)	3,451 (-)	3,475 (-)	2,395 (-)	125.3	32.00
22.9 予	11,208 (-)	4,210 (-)	4,211 (-)	2,729 (-)	142.7	36.00

(注) 21.9期は決算期変更のため13か月決算。21.9期、22.9期の伸び率は「-」表示



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/11/12)	5,540 円
年初来高値 (高値日)	5,920 円 (21/11/11)
同 安値 (安値日)	3,590 円 (21/8/18)
予想 P E R (22.9 予)	38.8 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	474.4 円
P B R	11.68 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金年36.00円)	0.65 %
R O E (21.9)	27.4 %
発行済み株式数	1,935 万株